

● 令和5年度 研修会 『子どもの心臓・腎臓疾患』 ●

講師：中国労災病院 小児科 小西 央郎先生

JA 広島総合病院 小児科 藤井 寛先生

実施日時：令和6年1月20日（土） 14:00～15:45

会場：オンライン配信（ZOOM開催）配信会場：広島大学病院臨床管理棟

対象者：保育・教育関係者

参加者：22名（養護教諭8名、看護師5名、教諭3名、医師1名、薬剤師1名、  
保健師1名、大学教員1名、特別支援校教諭・当事者1名、研究者1名）

担当：広島市

● 講演内容

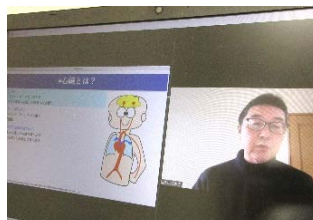
講演1

- ① 腎臓は何をすところ？
- ② 学校検尿は大切
- ③ 腎臓の病気は何がある？
- ④ 腎生検とは？



講演2

- ① 心臓の病態生理
- ② 心臓の疾患・検査
- ③ 学校心臓検診・AED
- ④ 学校生活管理指導票



● アンケート結果より

<参加のきっかけ>

「心臓、腎臓の疾患管理中の児童の健康管理に役立てたいから」

「専門的な知識を得て活用するため」

「医師の講義を受けることで、最新の情報が知れると思ったから」

「興味のある疾患だったため」

「来年度、疾患を持つ児童が入学する予定で病弱児学級ができるため、病弱児について知っておきたかったため」

「ネフローゼ症候群の生徒が在籍していることと、専門医の先生からのお話を聞く機会がなかなかないため」

「心臓病児を受け持っているため」

「大学の特別支援の教職課程にて授業を担当しているため、参加させていただきました」

「昨年から、広島県薬剤師会で「子どもの病気と薬を学ぶ研修会」が定期的で開催されていて、子どもの病気に興味を持ったことや、子どもの患者さんに接する機会があるので。また学校薬剤師をやってみたいと思っているので」  
「担任しているクラスに心臓病の児童とネフローゼの児童がいるため」  
「心電図検査結果について学びたいと思っていました」

#### <感想>

「お忙しいなかありがとうございました」  
「ネフローゼについてだけでなく、生徒（ファロー四徴症）の病気のことも知れて良かったです」  
「小児の腎臓病や心臓病のお話から改めて定期健康診断を正しく実施することや事後措置の大切さを感じました。学校生活管理指導表を基に、何か学校での対応に悩んだ時は保護者の方や主治医の先生と相談しながら対応していきたいです」  
「わかりやすい講義でした。また機会があれば参加させて下さい」  
「医学的な内容が多く、教諭である私には少し難しかったです」  
「腎臓や心臓について、学校検診に関して詳しく説明していただき、とても参考になりました。ありがとうございました」  
「どちらの先生のお話もとてもよくわかり、病気そのものについてもとても勉強になりましたし、先生が子どものことをよくみてあげておられるのが分かり、「優しい先生だな」と思いました。学校薬剤師としての経験がないため、学校で服薬・注射するときには困ることはどんなことだろうか？と何かの機会にお聞きしたいです。平日の昼間の参加が難しいので、土日などで参加させていただきます」  
「貴重な講演をありがとうございました。今後も参加させていただきたく存じます」

#### ●相談員より一言

今年度は残念なことに保育関係からの参加を頂けませんでした。県外からも熱心な教育関係者の参加がありました。心臓・腎臓疾患は学校健診でも異常を発見されることの出来る疾患です。検査後学校でもフォローも必要なことがあるかと思えます。参加人数は多くありませんでしたが、感想も多くいただき関心の高さがうかがえました。